

社会医療法人東和会 第二東和会病院 情報誌

LINK station

AUTUMN
2024.11
Vol.2



特集

看護部より地域の皆さまへ



社会医療法人 東和会

第二東和会病院 看護部より 地域の皆さまへ

第二東和会病院
看護部長 青野 裕子

●向かって左より
山川師長
櫻井副看護部長
青野看護部長
岡本師長



いわゆる「人生会議」のことです

看護部よりご挨拶

日頃より当院の医療にご理解とご支援を頂きまして誠にありがとうございます。特に近隣の医療機関の先生方や居宅介護事業所の皆さまにはお世話になっています。

2020年1月新型コロナの感染が始まりました。4年間ほどは、当院でもご家族さまの面会や面談、自宅退院前の試験外出・外泊や家庭訪問等の退院支援が低迷せざるを得なくなりました。ただ、発熱外来で来院された多くの患者さまのPCR検査やコロナ陽性患者さまの受け入れなどを積極的にいき、微力ながら地域に貢献することができたと思っております。今後も軽症から中等症レベルの入院が必要な患者さまがおられましたらご相談ください。

当院への入院については、急性期の第一東和会病院からの入院を中心に地域の急性期病院からの受け入れも行っています。外来からの緊急入院も地域包括ケア病棟で積極的に受け入れています。介護やリハビリが必要な患者さまのご相談や、在宅医療を支援するための一時的な入院など、地域連携室にて速やかに相談ができる体制を整備しておりますので、遠慮なくご活用ください。



ACPの推進と入退院支援について

昨今、高齢者を取り巻く医療制度とその課題は逼迫しており、支援者のマンパワー不足や認知症問題など退院支援における困難事例が徐々に増えてきております。そこで当院では、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の実施をご提案します。自身の最終段階をどのように過ごしたいか、話し合いの場を持つことで、患者さまの意思決定を支援いたします。

その際は、可能な限り、住み慣れた地域で自立した生活が続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されるように支援を行います。

現状を客観的に把握します！

病院機能評価 受審へのチャレンジ

当院は、本年11月に病院機能評価を受審します。受審が初めての職員が多く、どのようなことから始めれば良いのか戸惑いもありましたが、学んでいくうちに、患者さまの権利を尊重する、満足していただける医療の提供をすることが重要であると考えました。そのためにはしっかりと医療・看護・リハビリ等における説明を行い、同意を得て信頼していただけるように職員一同努めます。

今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

第二東和会病院 連携医療機関 インタビュー

医療法人 つじ・クリニック 辻 宏明 院長

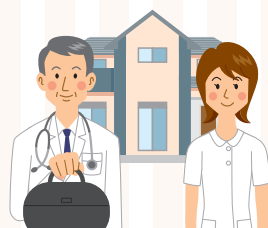


つじ・クリニックを開業する きっかけを教えてください

当初開業は全く考えておらず、勤務医のまま定年を迎えるものと思っていました。ところが先輩開業医の先生に在宅 ALS の患者さまの往診を頼まれ、慢性期在宅医療に初めて触れました。

初めて往診したときのことは忘れません。その方は私の感覚では「これは ICU でみるべきではないの？」という状態だったからです。

その後、神経難病の患者さまをたくさん紹介され、「病気や障害があっても自宅で過ごしたい」という方がた



くさんおられることを知りました。病院の勤務医として、在宅医療をされている先生方の力になれないかと考え、飯田理事長（当時）に相談し、2006年、病院に在宅療養支援部を作りました。

1年ほど続けているうちに、さらに、私の中で変化が訪れます。サポートではなく「どうしても自分で在宅医療をやってみたい」という気持ちが芽生えたのです。そして、2007年2月に在宅医療を中心としたつじ・クリニックを開業しました。

そんな経緯もあり、現在でも「在宅」を選択された方々に、できる限りの医療を届けることをモット



ーに、診療を続けています。



第二東和会病院との連携について メリットを教えてください

クリニックではできないこと（検査・専門医の診察など）をお願いしています。距離が近いこともあり、スピーディに対応していただけるのでとても助かっています。また、第二東和会病院が在宅療養支援病院の施設基準を取得されたことから、連携がより深まりました。

* * *

今後は病院であれ、在宅医療であれ、患者さまに関わる医療者が、風通し良く連携できるような地域医療をつくっていけたらと考えています。

医療法人 つじ・クリニック

呼吸器・内科

診療時間：午前9時～12時
（月・火・木・金）

午後は往診

休診日：水、土、日、祝

住所：高槻市辻子 2-23-1

電話：072-675-3237



辻 宏明 院長 プロフィール

昭和 55 年大阪医大卒業。同年、大阪医大胸部外科に入局。その後、第二東和会病院、第一東和会病院に勤務。平成 19 年 2 月開業。

東和会グループ



第二東和会病院 リハビリテーション科
理学療法士 **高谷 耕二** 主任



U-18 野球のアジア選手権大会に帯同

2024年9月2日～8日に、台湾の台北、桃園で開催された第13回BFA U18 アジア選手権大会。この大会に第二東和会病院リハビリテーション科の高谷耕二さんが帯同されました。その様子をインタビューしたので紹介します。

* * *

高谷さんは理学療法士として18年のキャリアがあります。2年目から「アスリートケア」という団体に所属し、春・夏の高校野球大会で選手の健康を支援。試合前のテーピング、試合中の救急対応、試

合後のアイシングなど、選手のコンディション調整を行っているそうです。高谷さんは、何度かこの活動を統括した実績をかわれて、アジア選手権大会へ帯同することになりました。

* * *

アジア選手権大会では、選手の悩みを聞いたり、ジムやプールなどの施設使用の申し出を代行したりと、様々なサポートも行ったそうです。

いつもと違う環境でも「いつものプレー」ができるように細かい気配りが必要だったとのこと。「この経験を今後に生かしたい」と抱負を語られました。



BFA U-18 アジア選手権大会...アジア地域の16歳から18歳の各国・地域代表選手で競われる野球の国際大会。2年に1度開催される。



結果は準優勝。
選手は力を出し切りました。

地域に愛される医療をめざして...



東和会グループ

<https://towakai-med.or.jp/>

社会医療法人 東和会 理念

私たちは「愛」と「和」の精神を大切にします。

そして患者さまの人権を尊重し、「地域の皆さまに信頼され愛される病院」を目指します。

第二東和会病院情報誌

LINK station

2024年第2号
発行日/2024年11月

発行者/社会医療法人東和会 第二東和会病院
〒569-0034 大阪府高槻市大塚町5-20-3

☎ 072-674-1008(代表)